

# 考動

Think + Action

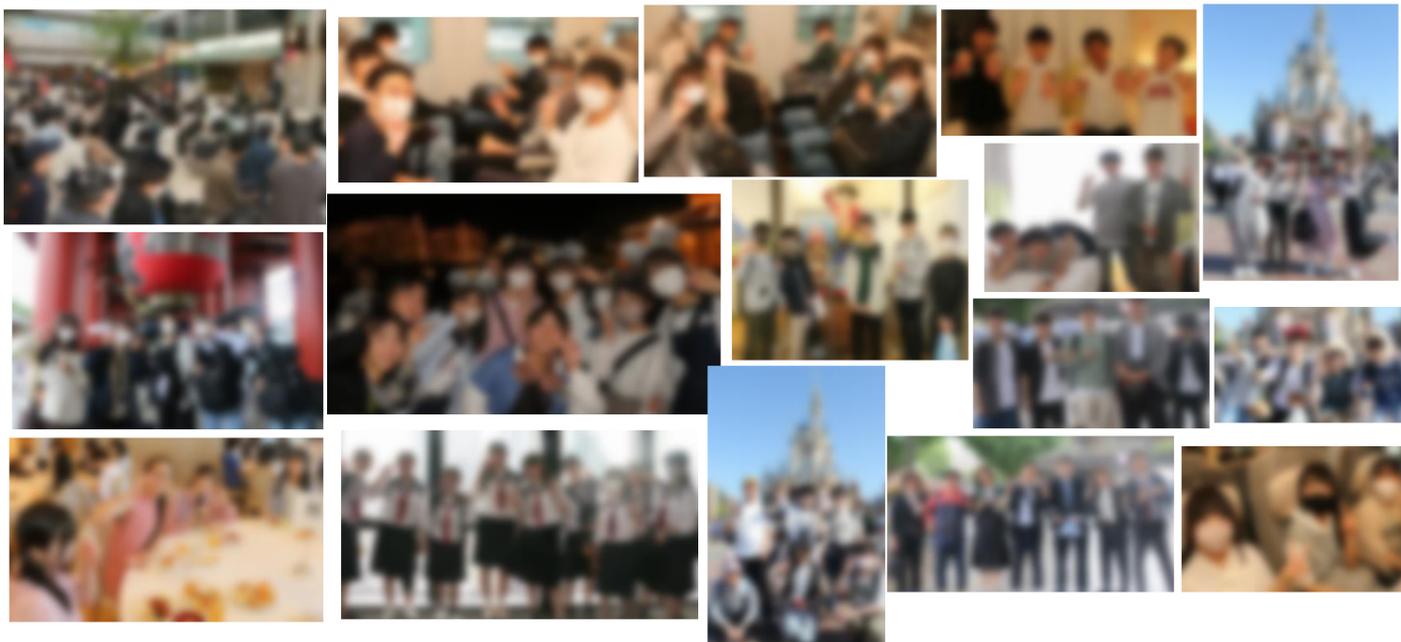
～当たり前的一步先へ～  
TEAM 将監東3学年

仙台市立将監東中学校  
3学年だより 第4号  
令和5年6月2日発行  
文責 伊藤貴也

## 修学旅行. あなたの一番の思い出は？

昨年の12月から準備を重ねてきた修学旅行が終了しました。長い時間をかけて準備を進めてきた2泊3日の旅は、みなさんにとってどんな時間だったでしょうか。1日目、朝の仙台駅への集合時間。諸事情により時間に遅れてしまった生徒がいましたが、ミスを少しでも取り返そうと全力で駆けつけ、心配をかけた人たちに精いっぱい謝罪をする姿、そしてそれを温かく迎え入れる全体の雰囲気にとってもほっこりしました。同日の夜に観劇したライオンキングは、オープニングの圧倒的な迫力に鳥肌がっ！そして一番楽しみにしていたであろうTDL研修では、「パークを出たくない！」と目に涙を浮かべる生徒もいましたが、20:30の集合時間に誰一人遅れることなく集合。ホテルや新幹線での生活の様子についても、ほとんどの人がきちんとルールを守り、その中で友人との貴重な時間を楽しむことができました。この楽しく充実した時間は、一生の思い出としてみんなの心に残っていくものだと思います。

たった3日間の活動ではありましたが、日ごとに時間やルールを守ることへの意識が高まり、集団（TEAM）としての雰囲気作りや行動力の高さに、改めてこの学年のすばらしさを感じることができました。時間やルールを守れるということは、社会人として当たり前なことであり信頼を勝ち取るための第一歩です。（中にはちょっとだけ就寝時間を守れなかった人もいたようですが・・・）今後の生活で大事なことは、修学旅行中はできていた時間やルールに対する意識を学校生活の中でも徹底させ、それらができることの「**当たり前**のさらに先」を貪欲に追求していくことです。そうすることが自分自身を鍛えることにつながり、そしてTEAM3学年全体の成長につながるからです。残された10ヶ月という中学校生活の時間の中で、一つでも多くのことを学び、成長するためにも今回の経験を「良い思い出だった」で片付けるのではなく、今後に活かすためにはどうしたらいいのかということ考動してほしいと思います。何はともあれ3日間、私自身もとても楽しい時間を過ごすことができました。それもこれもTEAM3学年のみんなのおかげです！次は中総体、合唱コンクールだ！がんばろう！！



## 俺の中総体

来週末に迫った最後の中総体。「最高のプレーをみせてやろう！」というワクワクした気持ち、「負けたら引退」という不安な気持ち・・・。それぞれが胸に抱える思いには、特別なものがあると思います。今回は私が中学3年の時に経験した中総体について、少しでも書いてみたいと思います。いよいよ明日から最後の勝負を迎えることになるみなさんが、最高の形で試合に臨めることを期待しています。

1995年7月、秋田市中総体。決して自慢するわけではないが、我が城南中学校は第1シードに位置し、ダントツの強さで優勝するだろうという下馬評だった。1, 2, 3回戦、準決勝と危なげなく勝ち進み、そして迎えた決勝戦。結果は48-45というたった3点差の勝利。会場にいる誰もが「どうした城南？」という雰囲気だった。

私には決勝戦で戦った30分間の記憶がほとんどない。そう、緊張していたのである。「優勝するのは絶対に城南だ」という期待や、「キャプテンの俺がしっかりしなければ」という責任感が大きなプレッシャーとなり、ミスを恐れた私は消極的なプレーを連発してしまっていたらしい。結局、決勝戦で私がついた点数はたったの3点。今でも思い出すと悔しさが込み上げてくる。その1ヶ月後に迎えた県大会でも自分自身を立て直すことができず、第1シードでありながら2回戦敗退。その時に撮った試合のビデオは、約30年経った今でも見るできないでいる。

なぜ、周りの期待やキャプテンという責任の重さに負け、びびり、自分自身のプレーをすることができなかったのか。なぜ、思い切りよく、気持ちよくプレーすることができなかったのか。本当に悔しくてたまらない。もし、もう一度やり直すことができるのなら、絶対に悔いの残るようなプレーはしない。自分が積み重ねてきた努力に自信を持ち、自分、チーム、そして応援してくれる人たちのために堂々とプレーしてみせる。これから「最後の中総体」という、最高の舞台に立つ君たちへ。思いっきりやりきってこい。「やらない後悔」より「やった後悔」の方がずっと気持ちいいぞ。「目の前にいる相手を絶対に倒してやる！」という強い気持ちで戦いを挑み続けろ。勝利はその先に待っている。

## 君に贈るこの言葉

「道を切り開くものは『自信』と『勇気』だ！」  
ドラマ「ROOKIES」より。

中総体は中学生、そしてそれを応援する人たちにとって特別な大会である。応援にも気合いが入る、雰囲気にも異様なものがある、選手は今までにないくらい緊張する。その不安や緊張を取り払い、勝利への道を切り拓くのはまさに『自信』と『勇気』だ。この大会までに自分ががんばってきたことを思い出そう。「自分はあんなにがんばってきたんだから大丈夫だ！」そう思うことによって不安や緊張は消え、自信をもって試合に臨めるはずだ！



道を切り開く  
ものは  
自信と勇気だ！  
川藤幸一

## それと同時に・・・

忘れてはならないのが、受験生であるということ。6月20日には1学期中間考査、28日には第1回実力考査が控えています。それらに向けての準備も同時進行で進めていかなければなりません。短期・長期の計画をきちんと立て、時間を上手にやりくりしながら頑張りましょう！

